



燃やせないごみ

ばらけるものは、くくって出すか、無色透明の袋に入れ毎月1回の決められた燃やせないごみ収集日に出してください。

家電四品目(P11)以外の、ひとりで持てる家電

【小型電化製品】

小型ラジカセ・ドライヤー・炊飯器・ミキサーなど。(電池がついているものは、はずす。)



【電子レンジ・トースター】

大人ひとりで持てるものに限る。(電子レンジ)



【ストーブ】

燃料を必ず抜く。(電池がついているものは、はずす。)



【プリンター】

パソコンの処分は製造・販売メーカーにお問い合わせください。

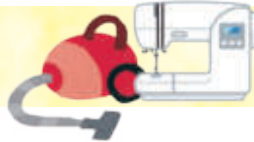


【コードレス電動工具】

コードレスのものは充電電池を取り除く(P10)



【ミシン】【掃除機】【ポット】 【空気清浄機】【扇風機】など



【LED電球】

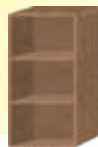


【割れた蛍光灯(白熱球)】



ひとりで持てるサイズ、または分解できる家具

【カラーボックス】【テレビ台】
【食器棚】【タンス】【机】【テーブル】
【マットレス(シングルサイズ)】など



資源物の対象にならないもの

【びん】

油びん・化粧びん・塗り薬など薬が入っていたびん・
哺乳びん(耐熱ガラス)・マニキュアびん など



【かん】

20cm以上や2ℓ以上の大きいかん
ミルクかん・菓子かん・一斗かん・塗料かん など



【陶器・ガラス・割れたビン】

茶わん・皿・ガラス・土鍋など。
(ガムテープでぐるぐる巻きはしない。)



【金属類・金属製のふた】

なべ・さじ・フライパン・おもちゃ など(金属製)



【刃物類】(危険物)

はさみ・包丁・カミソリ・ナイフ・
カッターの刃など。

カミソリ・カッターの刃は中が見える
透明のびんなどに入れてふたをする。



【自転車】

廃棄する旨を明記する。



【布団】(少量)

2枚まで。濡れないようにして。

【プランター(植木鉢)】

指定袋に入らない大きなもの



【釣り竿】【リール】

つり糸ははずす。
(つり糸は燃やせるごみへ)



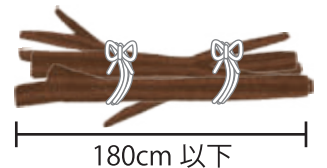
【ハンガー】

プラスチック製のハンガーは燃やせるごみへ。

【造花】【メジャー】【提灯】 【衣装ケース】【コンテナ】

【木片・木・よしず・竹切れ】(少量)

・1.8m以下に切ってから
ばらけないようにくくる。
(2束程度)



・直径10cmをこえるものは、
40~50cmぐらいに切って、1人で持てる
大きさにくくる。(2束程度)





蛍光灯（有害ごみ）

毎月1回の決められた燃やせないごみ収集日に出してください。

- ほかのものと区別して、まとめて出してください。
- 割れないように、なるべく購入したときの包装紙箱に入れて出してください。

対象となるもの



正しい出し方

割れた蛍光灯

LED 電球

電球（白熱球）

燃やせないごみへ



電池（有害ごみ）

アルカリ・マンガン電池のみ。アルカリ・マンガン電池以外の処理方法は環境センターにご相談ください。

毎月1回の決められた燃やせないごみ収集日に出してください。

【アルカリ・マンガン電池】

- ・一般に使われている筒型の乾電池。
- ・主に単一・単二・単三など。
(大村市で収集しているもの)



燃やせないごみへ

【リチウムイオン電池】

- ・モバイルバッテリー
- ・スマートフォン、タブレット
- ・デジタルカメラ
- ・携帯ゲーム機 など



【水銀電池・リチウム電池】

- ・ボタン電池
- ・子ども用ゲーム
- ・携帯電話
- ・腕時計 など



【ニカド電池】

- ・ビデオカメラ
- ・ひげそり（シェイバー）
- ・充電式掃除機 など



市では収集いたしませんのでリサイクル協力店または購入店へご相談ください。

リチウムイオン電池など充電式電池を使用した製品の廃棄方法について

リチウムイオン電池などの小型充電式電池が原因とされるごみ収集車やごみ処理施設での火災事故が増加しています。リチウムイオン電池などは強い衝撃や圧力を加えると発火する危険性があります。事故の未然防止のため、適正排出にご協力をお願いします。

充電電池が取り外せる場合

- ・本体から充電電池を取り外し、本体は「燃やせないごみ」として出してください。
- ・取り外した充電電池は、市では回収しておりません。購入店への返却か一般社団法人JBRCの回収協力店での回収にご協力ください。
- ・充電電池の膨張などで引き取り先がない場合は、環境センターにお問い合わせください。



充電電池が取り外せない場合

- ・取り外しができない製品は、そのまま「燃やせないごみ」として出してください。
- ・膨張したモバイルバッテリーなどは、燃やせないごみとして出さずに環境センターにお問い合わせください。



火災・発火の危険性があるため、充電式電池は燃やせるごみの中には絶対に入れないでください。